

方針と重点	市の基本施策	学校の教育目標	資質・能力を育てたい	基本施策との関わり	本年度新たな学校の重点	具体的な実践内容または観点 (手立てとしてどうか、または達成度かどうか)	評価 A S D	分析と改善点
方針・重点 郷土教育・持続可能な社会の創造 教育・ICT教育・キャリア教育 教育・ICT教育・キャリア教育	⑤安全・安心で快適な学校環境の整備 ④DXをとり入れた教育の推進 ③学校の地域・関係団体等との協働による郷土教育の推進 ②子ども・自己実現を支える確かな学力を育み、生きて働く力を身に付ける教育の推進 ①豊かな心、健康な体、確かな学力を育み、生きて働く力を身に付ける教育の推進	自主（自分で）・共生（仲間と共に）	ふるさとの中で、自分で判断して行動し、人と関わり共に生き抜く力	① ② ④	思考し続ける「自立タイム」の創造	自ら追究する力(学び方)を高めることで、「学力＝学ぶ力」を養い高めることで、“楽しい”“わかる”授業を作り出す。 (授業が“楽しい”“わかる”90%以上にする)		
				① ② ④	表現し続ける「共生タイム」の創造	教科横断的に表現する力を高め、小集団で互いに説得力・プレゼン力を高めていく。		
				① ②	サキドリ研究指定校としての実践	サキドリ研究指定校として、多様な思考、学び方の継承を行い、異集団での人間形成を学ぶ。 (朝日タイムの満足度90%以上)		
				① ② ③ ⑤	自分を見つめ個を高め続ける活動	自分の“中学生キャリア”を描くこと、具体的努力を残すことで「なりたい自分」にアプローチしていく (なりたい自分へ向けての、実践の継続。生徒の達成度90%以上)		
				① ⑤	仲間を見つめ集団と共に高まる活動	学年の使命を自覚し、全校ミーティング等を通して令和10年度につながっていく活動を学級の仲間と生み出し、小中学校に広がっていく活動にしていく。		
				① ② ⑤	自分に合った居場所づくり	一人一人の生徒の気持ちに寄り添い、学習や生徒会活動、キャリアプロジェクト等に楽しく意欲的に取り組ませる。 (学校が楽しい割合が90%)		
				① ③	義務教育学校開校につながる小学校との具体的な連携	兼務教員により授業の専門性を高め、小中合同研究により同一の視点で授業の向上を目指すとともに、小学校児童、中学校生徒の理解を深める。		
				③ ⑤	保護者・地域との実情に応じた積極的な連携	開かれた学校を踏まえて、保護者や地域に生徒の活動を披露したり、生徒と交流する場面をつくったりして連携を深める。		
				③	9年間を系統立てた郷土教育(ふるさと学習)の充実	系統性を踏まえ、地域の方から郷土の自然、文化、産業、歴史等を学びつつ、新しい地域の開拓を行い、郷土のよさや課題について考える機会を増やす。		